

十和支所管内より



二人でアロエを育てています

(左) 芝登さん (89)

(右) 富子さん (81)

私たちは、お米やインゲン等を育てていますが、栽培品目の中で特に珍しいのは「アロエ」ではないでしょうか。毎月、600kgほどを収穫しています。アロエは芽がよく出るので、摘果作業が重要になってきます。特に、夏場はこまめに摘果をしなければならないので、高熱のハウスの中での作業が大変です。私たちのアロエは加工されて漢方薬になりますが、そのままでも使えるんですよ。先日、ミツバチに刺されたんですが、アロエを塗ったら痛くもなんともなかったです(笑)

猫一倍、甘えん坊

橋本 福くん(不明)

僕、主人大好き。お家に遊びに来てくれる人も、みーんな大好き。はじめましての相手だと、ちょっとオドオドしちゃうけど、時間が経って慣れちゃうと、すぐにデレデレモード突入！膝の上に乗せてもらえるチャンスをうかがって、頭ぐりぐり押し付けアピール♪ そうすると、大体の人は膝に乗せてくれるんだ。

こんな僕だけど、実は昔から運動は苦手で、主人には鈍くさいって笑われるけど……。そんなことないにゃん!! 猫の世界にだって、得意不得意はあるのにゃん。

中村支所管内より



幡多
地区

から こんにちは
今月の気になる人

大月支所管内より



便利なバッグを手作りで

富岡 涼子さん (71)

物づくりが好きで、5年ほど前からバッグを手作りしています。JAの直販所などに出品しており、去年は80個ほどのバッグを出しました。作る難しさはバッグによって違い、複雑なものを作るときは悩みに悩みます。頭の中がすっきりしているときでないと、捗りませんねえ。幡多地区女性部の大月支部長を務めているので忙しい時もありますが、合間を見つけては、あまり根を詰め過ぎないように少しずつ作っています。年間作成数100個を目指して、これからも続けていきます。

農に関わり七十年

池添 敏一さん (84)

祖父に連れられ、小学6年生の頃から農業をしていました。もちろん、当時は今のような便利な機械はなく、牛を使って畑を耕すような時代です。自分のそんな経験と比べれば、今の農業は幾分か恵まれていて、やり易いのかも知れません。まあその分、機械を買うお金はかかりますが(笑)

私は、野菜も作ってはいますが、一番力を入れているのはお米です。「コシヒカリ」を70アールで栽培しており、7月下旬ごろには収穫の予定です。去年は、JAへ2tほど出荷しました。私がお米を送るのを楽しみにしている息子家族のためにも、まだ現役で頑張りたいですね。

大方支所管内より



5

地区本部

幡多の郷土料理継承・女性部料理教室開催



講師の高橋支部長（最右）のレクチャーを受ける参加者ら

女性部幡多地区は6月27日、今年度第一回目の料理教室を四万十市で開催しました。

同教室は、幡多地区の郷土料理を継承していくことを目的として開催され、今回は同女性部員ら15人が参加。同女性部の大方支部長、高橋美千代さんが講師を務め、「ふ海苔の和え物」などの郷土料理の作り方をレクチャーしました。参加者らは、レシピや作り方のコツを教わり知識を深めました。

同教室は、年度内を目安にあと4回ほどの開催を計画しており、田舎寿司やおせち料理などを取り扱う予定です。

3

中村支所

コロナ不況・農家支える支援金



市の職員から説明を受ける参加者ら

高収益作物次期作支援交付金制度の受付が、交付条件の該当者に対して行われました。

四万十農園めぐりつこでは6月23日、当該制度に関する説明会が行われ、四万十市やJAの職員らが参加者ひとり一人と面談をし、受付をしました。

当該制度は、新型コロナウイルスの影響による需要の減少により市場価格が低落するなどの影響を受けた野菜・花き・果樹・茶等の高収益作物について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援し、国内外の新たな需要促進に繋げることを目的としています。

6

地区本部

R2年度LA紹介ポスター完成



完成した新任LA紹介ポスター

県下、各地区の新任LA（ライフアドバイザー）を紹介するポスターの令和2年度版が完成しました。幡多地区代表として、三崎支所所属の田村純LAが同ポスターで紹介され、6月上旬頃から各支所や事業所などに掲載されています。

ライフアドバイザーは、利用者とJA・JA共済を繋ぐ重要なパイプ役を担い、専門的な知識で皆様の人生設計を大きくサポートいたします。JA共済の「いえ・ひと・くるま」の保障に関してご相談・ご質問等ありましたら、お気軽に各支所の「ライフアドバイザー」へお尋ねください。

4

大方支所

女性部大方支部・ふれあい教室開催



レシピを確認する参加者ら

女性部の幡多地区大方支部は6月2日、今年度第一回目のふれあい教室を黒潮町で開催し、部員35人が参加しました。

同支部は、物づくりの知識を共有しながら親睦を深めようと、毎年3〜4回ほど教室を開催しています。同支部の高橋美千代支部長が、梅みそドレッシングなどの梅を用いた調理法や、タマネギを用いた黒玉ジャムなどの作り方を紹介。参加者は、質疑応答を交えながら熱心に聞き入っていました。

高橋支部長は「同教室に関して、今年度は毎月1回のペースで開きたいと思う。感染状況を注視しながら、できるだけ多くふれあいの場を提供していきたい」と話します。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ニラの出荷調整作業を体験する参加者ら

1

地区本部

農福連携事業推進・高知県と協力

高知県幡多農業振興センターと高知県農業会議、JA高知県幡多地区は24日、四万十市で、ニラの出荷調整作業にかかる体験講習会を開催しました。

同地区は、障害を抱える方々の社会進出を目的とする農福連携事業推進の一環で、黒潮町の大方南部事業所でのニラの選果作業の一部を、今秋から近隣の福祉事業所と共同で行う計画をしています。

講習会は2日間、4回に分けて行われ、今回は大方生華園と小規模作業所「わらわら」の職員や施設利用者ら6人が参加しました。

参加者はニラの計量や結束、そぐり作業などを体験し、施設利用者が実際に作業するにあたっての課題を抽出。作業自体の可否や作業場所、就業時間について討議しました。

同センター産地育成第一担当の岡田昌久チーフは、「農福連携を推し進めていく中で障害のある方々へ就業の機会を提供し、併せて選果員が不足している現状を打開するためにも、秋からの共同選果作業が現実のものとなるよう、協力していきたい。」と強い意志を示しました。



業務に励む同センターの職員ら

2

幡多地区

事故処理対応利用者満足度調査満足度高水準・感謝状受け取る

JA高知県は、JA共済連が行う事故処理対応利用者満足度調査（令和元年度実績）で、全国225の大規模JA中23位という高い評価を受けました。これは全国のJAを対象に、自動車事故に遭われた契約者に対し、より一層充実したサービスのご提供を目的として事故処理後実施しているアンケート調査結果に基づいて審査が行われています。

幡多地区管内を担当する幡多サービスセンターでは、11人体制で契約者様からの事故受付および示談交渉や、共済金のお支払いなどの対応にあたっており、昨年度は905件の交通事故に対応しました。同センターの交通事故に際しては、同センターの取り組みとしては、「現場へ急行すること」「早期の契約者様との面談」です。事故発生直後、不安な心境にある契約者様と直に顔を合わせ話をお聞きすることで、少しでも早く不安を解消していくことが大切だと考えます。

同センター刈谷泰輔課長は「幡多は広域な地区。その中でいち早く現地に outgoing 対応するためには、地区内の各支所との連携が必要不可欠であり、これからの協力しながら、契約者様により満足していただけるような対応を心掛けていく」と話します。

初心者（家庭菜園）向け ダイコンを作ろう！

栽培のポイント

- 土作りを十分に行います。（深耕し、小石、大きい雑草の根を除く。未熟な堆肥は入れない。）
- 排水の良い圃場を選びましょう。
- 連作すると土壌病害、ホウ素欠乏の発生が多くなるので、他生物と連作しましょう。



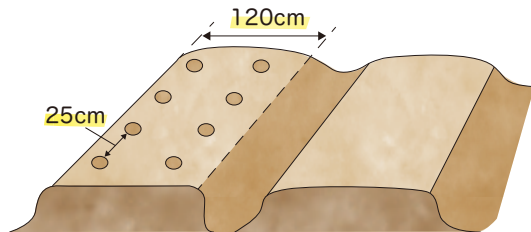
【作付け計画】

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏どり				●			■					
秋どり					●			■				
冬どり	■	■							●			■

●:播種 -:生育 ■:収穫

① 畑の準備

- 根が深く入るので深耕し、軟らかくしておきましょう。
- 施肥は元肥（1㎡当たり有機1号ペレット200g）を主体として種まき7日前までに施し、良く耕して土と肥料を馴染ませます。
- 畝幅は1.2mとし、排水のよい圃場は平畝、耕土の浅い畑は高畝にしましょう。



② 種まき

- 25cm間隔で一ヶ所5粒程を2条に蒔きます。
- 土が乾いている時は十分灌水してから種を蒔きましょう。種をまいたら、細かい土で覆土します。（種をまく前の畝面、覆土後にクワの背で軽く押さえると良いです。）

③ 間引き

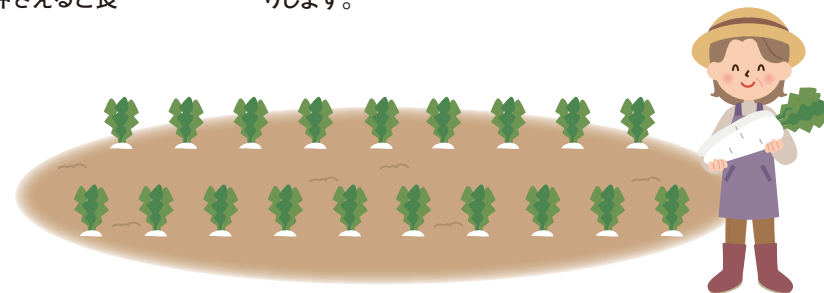
- 1回目は本葉1枚の頃3本に、2回目は本葉3～4枚頃2本に、3回目は本葉6～7枚で1本にします。
- 間引きは、葉の形の悪いもの、葉色の濃いもの、病害虫に侵されているもの、特別大きいものと小さい物から除きます。
- 間引いた後は土を寄せましょう。

④ 追肥

- 種まきをし、間引きも済ませた30日後くらいに、葉の長さより外側になるところに離して施します。（1㎡当たりグリーンS555 15g）

⑤ 収穫

- ある程度おおきくなれば適宜収穫できます。品種によって収穫期が異なりますが、種まき後70～80日を過ぎないように収穫しましょう。遅れると、スが入ったりします。



役立つ！ 得する！ 情報 えいのう～

幡多地域におけるキュウリは栽培面積19ヘクタール、戸数88戸で販売金額1位の基幹品目です。

しかしながら、近年ミナミキイロアザミウマ（スリッパス）が媒介する黄化えそ病の被害による減収が深刻な問題となっており、早急な対策が求められています。（令和2年度実施の幡多管内における促成キュウリ農家61戸のアンケート調査より）

そこで、JA高知県幡多地区と幡多農業振興センターは黄化えそ病の防除マニュアルを作成し、生産者の方々と実践していくことで、ミナミキイロアザミウマの防除と黄化えそ病被害の軽減を目指しています。



【黄化えそ病とは】

ウリ科植物が病原ウイルスの Melon yellow spot virus (MYSV) に感染することで発症し、葉がモザイク状に透け、進行すると葉の全体が黄化し、やがて枯死します。また、果実にもモザイクや奇形をおこすことがあります。

このウイルスはミナミキイロアザミウマが吸汁することで、健全な株に伝染すると考えられています。土壌伝染や種子伝染はせず、管理作業などによる接触伝染の可能性は低いです。



（黄化えそ病：キュウリの葉の黄化症状）

- ・媒介するミナミキイロアザミウマを防除しましょう。
- ・周辺の雑草は除去しましょう。ミナミキイロアザミウマの生育・増殖場所になります。



（ミナミキイロアザミウマ：体長1mm程度の黄色い虫）

【被害を増やさないためのポイント】

- ・黄化えそ病にかかった株はできるだけ早く引き抜きましょう。引き抜き後はビニール袋に入れて密封し、処分しましょう。

令和2年度【幡多農業振興センターの取り組み計画】

7月	
8月	防除マニュアル（案）の報告
9月	
10月	（抑制作型）病害発生状況の調査、作終了時の防除呼びかけ
11月	（促成作型）ミナミキイロアザミウマの防除呼びかけ
12月	黄化えそ被害株の抜き取り呼びかけ
1月	防除マニュアルの効果の確認
2月	
3月	（促成作型）防除マニュアルの効果の報告

幡多農業振興センター 白木香奈（0880-3417070）

キュウリ黄化えそ病の対策

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

今年は、ピーマン、トマト、ナス、スイカ、メロンの苗を子どもたちと植えました。先日、トマトとピーマンを収穫し、野菜が大好きなお姉ちゃんが生産のピーマンにチャレンジ！「にがい！」と言って、食べられませんでした。

(宿毛支所管内・39歳)

▼生のピーマンをかじり、渋い顔をするお姉ちゃん。そんな様子を想像し、なんだか和やかな気持ちになりました(笑) ピーマンを使った美味しい料理で、いい笑顔を見せるお姉ちゃんも想像できます。

いつも楽しく拝読しています。このところ、コロナ禍で何かと大変ですが、皆さんが助け合って協力して、支えあって……。感動する毎日でもあります。皆さん、負けないで前向きにいきましょう。

（三原支所管内・79歳）

▼皆でコロナを乗り越えるための支援の輪が確実に広まっていると思います。様々な人・企業などが、様々な形で支援策を実施しています。そんな方々の気持ちに触れる度、それだけで前向きになれる気がします。踏ん張っていきましょう。

花き農家さんが丹精込めて育てた花が、コロ
ナの影響で出荷できず、廃棄せざるを得ない
という現状をニュースで知り、心が痛みました。
今までの日常が三日でも早く戻りますように。

(中村支所管内・67歳)

▼花き農家さんへのコロナの影響は、皆様の想像以上のものではないかと思います。先月号でも紹介しましたが、そんな花き農家の方々を支援しようと、JAとしましても花の緊急即売会を実施させていただきました。花には、人を癒す力があります。皆様も、お家に花を飾ってみてはいかがでしょう？ 憂鬱になりがちな現状ですが、花は、そんな心の抛り所となってくれるのではないのでしょうか。

記事はもちろんですが、料理コーナーや家庭菜園のコーナーも、いつも参考にさせていただいています。クロスワードは、小学生の娘が担当しています。今回掲載されていた牧野植物園は、再開すれば、家族で行きたいです。

(大正支所管内・45歳)

▼「こうぐり」を隅々まで読んでいただき、あらがとうございます。クロスワードを解く小学生のお子様、ご立派ですね。ぜひ、クロスワードには毎月チャレンジしていただき、プレゼントをゲットしてください！

今、世界は新型コロナウイルスの影響で、大変な時を迎えていますね。それでも、人混みを避け自分の畑に行き、自然や野菜と触れ合っていると、なんだか安心できます。早くコロナが収まるといいですね。

(大方支所管内・69歳)

▼気分が沈みがちなこんな時だからこそ、自分の中でほっこりできる時間を作るということは、すごく大切だと思います。自分自身も、目の前の深刻な現状ばかりに目を取られがちですが、時々立ち止まり、後ろを振り返るような余裕を持ちたいです。

INFORMATION

お知らせ

**JA高知県の給油所をご利用の皆様へ
お得な『JAカード』のお知らせです!!**

現在、JA高知県のJA-SSでの給油時に
JAカードを利用すると・・・

ガソリン・軽油が、
なんと**5**円/ℓ引き!!

※ご利用時 -3円/ℓ
ご精算時 -2円/ℓ

JAカードはさらにお得!!

- ・JAカード新規会員の方は**初年度会費が無料**
 - ・また、次の①～③のいずれかに該当すれば
次年度会費も無料！！
- ①年間12万以上のカードショッピング利用
 - ②電気料金のJAカード支払い
 - ③携帯電話料金のJAカード支払い
- などなど、その他にもお得なサービス満載！

その他の詳細や、JAカード申し込み条件などに関しては信用窓口までお気軽にご連絡ください。